

具体的なそれを待たずして、
は第百号に当るといふような同窓
誌は大方が冷切つてゐる。まる
い事です。とりわけ、これが第一
号であるのが、当の前の事である
けれども、嬉しいね。我が今何
かを守つたり育つたりするのでは
なくて、新しく或る物を創り出す
立場にゐるという事が、ことごと
それを感ぜさせます。

物にはしたく無いね。事実、これ
は第百号に当るといふような同窓
誌は大方が冷切つてゐる。まる
い事です。とりわけ、これが第一
号であるのが、当の前の事である
けれども、嬉しいね。我が今何
かを守つたり育つたりするのでは
なくて、新しく或る物を創り出す
立場にゐるという事が、ことごと
それを感ぜさせます。

なれば、当の民衆も別に文句も
いわずに従ひそれがわれ等の民族
音楽だといふような顔でゐる。前
世紀の民族主義時代にもないこ
です。最近これらについてよく
一部からアヴァンギャルドとか社会
主義リアリズムと民族性というの
がどういふことか等、議論が始め
られたが、その音楽の弱さが云々
されることがある。事実、わが國
の音楽的士族の貧しさといふのは
相当な物で、正々幾らか向上の兆
の空気が少し揺らぐ程に慎まな
い。何よりいへないのは対象と
ある職業の考えがこもこも出て
ないことなんだ。たまに何かい
てゐるといへば、ベートーヴェン
はブルジョワ的だとか、エニヒ
ツハの音楽性にうたれたとかい
う類では悲しくもなつて。

第一号・音楽・漫画

はじめに放言ありき
端山貢明

あるけれども全体から見ると、や
はり問題にならな。そこから成
長して来る楽壇というのが、奇妙
に貧弱な楽壇で、その中で起つて
いることを見ていたら少しは焦々
する人が出て来てもよさそうなの
だと思つた。皆、上品で格調も
あるのだが何か欠けてゐる。社会
主義リアリズムを追つてゐるとい
うのがどういふことかと思つて、民
謡それと遊離から遊離を渡り歩い
て漸く都会に辿りついたようなも
のを交響曲形式に採入されたら
またどういふ運動に先身を呈す
ることであつたりするのだから他
愛もない。更にそこに反論も起き
てゐるんだし、少くとも、あいつ
らはまだなんな開けな喧嘩をし
てゐるのかと思ひ出させるだけで
も意味があるのだと思つたよ。



なれば、当の民衆も別に文句も
いわずに従ひそれがわれ等の民族
音楽だといふような顔でゐる。前
世紀の民族主義時代にもないこ
です。最近これらについてよく
一部からアヴァンギャルドとか社会
主義リアリズムと民族性というの
がどういふことか等、議論が始め
られたが、その音楽の弱さが云々
されることがある。事実、わが國
の音楽的士族の貧しさといふのは
相当な物で、正々幾らか向上の兆
の空気が少し揺らぐ程に慎まな
い。何よりいへないのは対象と
ある職業の考えがこもこも出て
ないことなんだ。たまに何かい
てゐるといへば、ベートーヴェン
はブルジョワ的だとか、エニヒ
ツハの音楽性にうたれたとかい
う類では悲しくもなつて。

衆の意見が出て来ても良い筈だ。
あんな行き方は下らんとか、又そ
の領域の中に於ても大した作品で
はないとか。大体音楽家は人が好
いと云うが、聴衆はそれに輪をか
けた人の好きじやないか。今聴い
たばかりの作品に於て意見を聞
かれて、オズオズと俺よく解んね
えんだなんて云うのは止めよう。
音楽が解らない等と云う事は実際
問題として有り得ないと思つたよ。
唯それは解説とか批評とか同じ
ように感じないと云うだけでも

ボロ車でも楽し

先生達に自動車熱流行
四人の先生方の賛同をえた。早
速、千円ずつ出し合ひ、赤坂溜
池の自動車屋街で、四万五千円
の格安の中古車を揃ひ出し、
不足分の代金分、
横濱あたりまで運出したこと
も、月々五百円ずつ給
ツトサン三十六号

の面白いかつまらなとか云う
外に、解らないなんて云う方
が出来たのは、真の芸術は後世に
至つて始めて理解されると云う下
らない伝説のおかけなんだ。もつ
とも、儀式と伝説と云うのは附
物だけれども、だから感じたら何
か言つてしまつて、下らないと
かつまらなとか云われれば、作
る人だつて少しは考へるだろう
そうすれば民衆を使う事が社会主
義的だなんて云う議論はどこかへ
消えてしまつたよ。何々亭のシヤト
リアンが美味いとか、どことか
会館のフシロチが不味いとか云う

具合に、音楽の争を許したつてよ
さうな物だと思つた。ウイーン
フィルハーモニーがウイーンワル
ツを演る時、何故なにかと云う
のは、どう云う事なんだ。演奏家
と作曲家と聴衆が現代ほど別れ
居なかつた時代の音楽には、更に
のびやかな美しさがある。中世の
マドリガル例へば、Non cum
se recommande a vous、等は
こよなく美しい。
皆が音楽を感じる事は重要な事
だが感じた事を云うのも大切だ。
音楽の世界は議論が無すぎる。
十六年卒

創作劇「分ら猿」を上演

都立の演劇部OBを中心し結成さ
れてゐる、劇團「分ら猿」の第
三回公演が、去る五月十一・十二
日、国際演劇月参加を幹つて、
東京ウイデオホールで開かれた。
この公演では、始め自分達の同
人、堀内茂吉氏(二十七年卒)に
対して堀内さんの「分ら猿」は
大変よく造られてゐると思いま
した。人間の内面という点から
もまた現実社会に現れた姿と
して、もまた捉えられてゐる。
それが舞台の上になつて造形さ
れて私演観客の中になつて、
くつてゐるものがあるのを感じ
たので、ここに記す。
ですが、眼の前で動いて行く様々
の姿が、その具象を透過して詩
的なイメージを結ぶところまで
は行つてゐないと思つた。現
在から切りとつた断面が舞
台の上でポーズを生み出すま
に行つてゐない様に私は思つ
たのです。現実にあつてはもつ
つと切つて行つてゐる筈の現
在の舞台とは違つて、赤銅色の厚
い板を舞臺と見せ、水たまりが
けつたように、作者はペンフレツ
トの中に「無明の時」を廻して
ませんが、その立体的な構造に
「永遠についての像を刻む」は
「永遠についての像を刻む」は

創作劇「分ら猿」を上演

創作劇「分ら猿」を上演したが、
これを契機に今後は既成作家の劇
曲や、翻訳劇ではなく、新人の創
作劇だけを演るといふ新しい方向
へ進んで行くことになつた。この
公演で、特に音楽は現在に留
る中、三善晃氏(二十六年卒)に
対して堀内さんの「分ら猿」は
大変よく造られてゐると思いま
した。人間の内面という点から
もまた現実社会に現れた姿と
して、もまた捉えられてゐる。
それが舞台の上になつて造形さ
れて私演観客の中になつて、
くつてゐるものがあるのを感じ
たので、ここに記す。
ですが、眼の前で動いて行く様々
の姿が、その具象を透過して詩
的なイメージを結ぶところまで
は行つてゐないと思つた。現
在から切りとつた断面が舞
台の上でポーズを生み出すま
に行つてゐない様に私は思つ
たのです。現実にあつてはもつ
つと切つて行つてゐる筈の現
在の舞台とは違つて、赤銅色の厚
い板を舞臺と見せ、水たまりが
けつたように、作者はペンフレツ
トの中に「無明の時」を廻して
ませんが、その立体的な構造に
「永遠についての像を刻む」は

創作劇「分ら猿」を上演

創作劇「分ら猿」を上演したが、
これを契機に今後は既成作家の劇
曲や、翻訳劇ではなく、新人の創
作劇だけを演るといふ新しい方向
へ進んで行くことになつた。この
公演で、特に音楽は現在に留
る中、三善晃氏(二十六年卒)に
対して堀内さんの「分ら猿」は
大変よく造られてゐると思いま
した。人間の内面という点から
もまた現実社会に現れた姿と
して、もまた捉えられてゐる。
それが舞台の上になつて造形さ
れて私演観客の中になつて、
くつてゐるものがあるのを感じ
たので、ここに記す。
ですが、眼の前で動いて行く様々
の姿が、その具象を透過して詩
的なイメージを結ぶところまで
は行つてゐないと思つた。現
在から切りとつた断面が舞
台の上でポーズを生み出すま
に行つてゐない様に私は思つ
たのです。現実にあつてはもつ
つと切つて行つてゐる筈の現
在の舞台とは違つて、赤銅色の厚
い板を舞臺と見せ、水たまりが
けつたように、作者はペンフレツ
トの中に「無明の時」を廻して
ませんが、その立体的な構造に
「永遠についての像を刻む」は

創作劇「分ら猿」を上演

創作劇「分ら猿」を上演したが、
これを契機に今後は既成作家の劇
曲や、翻訳劇ではなく、新人の創
作劇だけを演るといふ新しい方向
へ進んで行くことになつた。この
公演で、特に音楽は現在に留
る中、三善晃氏(二十六年卒)に
対して堀内さんの「分ら猿」は
大変よく造られてゐると思いま
した。人間の内面という点から
もまた現実社会に現れた姿と
して、もまた捉えられてゐる。
それが舞台の上になつて造形さ
れて私演観客の中になつて、
くつてゐるものがあるのを感じ
たので、ここに記す。
ですが、眼の前で動いて行く様々
の姿が、その具象を透過して詩
的なイメージを結ぶところまで
は行つてゐないと思つた。現
在から切りとつた断面が舞
台の上でポーズを生み出すま
に行つてゐない様に私は思つ
たのです。現実にあつてはもつ
つと切つて行つてゐる筈の現
在の舞台とは違つて、赤銅色の厚
い板を舞臺と見せ、水たまりが
けつたように、作者はペンフレツ
トの中に「無明の時」を廻して
ませんが、その立体的な構造に
「永遠についての像を刻む」は

創作劇「分ら猿」を上演

創作劇「分ら猿」を上演したが、
これを契機に今後は既成作家の劇
曲や、翻訳劇ではなく、新人の創
作劇だけを演るといふ新しい方向
へ進んで行くことになつた。この
公演で、特に音楽は現在に留
る中、三善晃氏(二十六年卒)に
対して堀内さんの「分ら猿」は
大変よく造られてゐると思いま
した。人間の内面という点から
もまた現実社会に現れた姿と
して、もまた捉えられてゐる。
それが舞台の上になつて造形さ
れて私演観客の中になつて、
くつてゐるものがあるのを感じ
たので、ここに記す。
ですが、眼の前で動いて行く様々
の姿が、その具象を透過して詩
的なイメージを結ぶところまで
は行つてゐないと思つた。現
在から切りとつた断面が舞
台の上でポーズを生み出すま
に行つてゐない様に私は思つ
たのです。現実にあつてはもつ
つと切つて行つてゐる筈の現
在の舞台とは違つて、赤銅色の厚
い板を舞臺と見せ、水たまりが
けつたように、作者はペンフレツ
トの中に「無明の時」を廻して
ませんが、その立体的な構造に
「永遠についての像を刻む」は

加藤 雅子
加藤助手の更に助手として、自右
信之氏(芸大在学・二十八年卒)
が二・三年生の演劇を、野口貞義
氏(多摩美大在学・二十九年卒)
が工作を、それぞれ分担して協力
した。

加藤助手の更に助手として、自右
信之氏(芸大在学・二十八年卒)
が二・三年生の演劇を、野口貞義
氏(多摩美大在学・二十九年卒)
が工作を、それぞれ分担して協力
した。

旧制との合併を検討

定例委員会報告

六月九日午後四時より定例委員会が開かれ旧制都立高校同窓会との合併の件が議題にのぼつたが、双方の態度がはつきりしてないため何らの結論をえるにはいたらなかつた。また、具体的に、運営方法規約の点からも無理な点が多く、せいぜい連合会という形で、相互の交渉をはかる程度しかできないのではないかとの見通しもあつたといふ。

同窓会人事

三十一年度前期同窓会委員は左記の通りに決つた。

- 一期 A 内野 滋雄 竹村 五郎
 - B 鯨目 恒天 齋藤 哲
 - 二期 A 黒田 定明 野中 文字
 - B 大野 義長 村田豊太郎
 - C 松下 宏 井出 節子
 - 三期 A 未定
 - B 池谷 重徳 中山 雅子
 - C 平塚 昭隆 伊藤酒造雄
 - 四期 A 中田 了介 辰口真里子
 - B 河尻 宏史 高田 宗昌
 - C 山崎 光郎 河南 和子
 - 是永 竜二(会計)
 - 五期 A 荒木 悌三 各務 敬子
 - B 西尾 元宏
 - C 青木 達郎 前田 滋
 - 六期 A 全クラス未定
- なお、委員未選出のクラスは、是非、早急に決定されたい。

一九五四年度 会計報告

一九五四年十一月
一九五五年十一月

前年度繰越	七五、九七〇
五期生入会金	六二、一八〇
預金利息	一、二三六
一―四期入会金	六〇〇
振替貯入	一〇、八八〇
合 計	一三〇、八六六
△支出	
通信連絡費	七、二六八
卒業生記念品	四、〇〇〇
印刷文書費	二二三
交通費	四〇

編集室より

この会報の題号を皆さんから募り、さしあたり、第一号は仮題として「同窓会報」という、誠に即物的な名を付けてあります。もし適当な題名があれば、同窓会宛一紙一紙、ごさい。

編集員募集

また、同窓会報の編集者も募集してあります。有志の積極的な参加を期待します。

会報題号を募る

この会報の題号を皆さんから募り、さしあたり、第一号は仮題として「同窓会報」という、誠に即物的な名を付けてあります。もし適当な題名があれば、同窓会宛一紙一紙、ごさい。

雑・誌・紹・介

在学中、都立では数雑誌や同人誌の類は、ほとんど発行されていなかった。卒業後、お互いに離れがちになつて行く、元の仲間達の間で、再び意見を交換し合ひ、消息を交わす共通の広場を求めて、ぼつぼつ雑誌が発行され始めている。

今までは、次に紹介する「おこせ」「原石」の二種しか出てないが、今後はほとんど発行されることを見たい。

おこせ (第一号) 三十年
卒。B組雑誌。
自ら取つていふように「みんなどうしてかかなあ」という気持を、「そうか、フーン」にするために企画されたもの。自然、断片的な随想や、紀行が殆どだが、始めての試みとしてはやむをえない。アツト・ホームな気分が満ちている中、倉田英明氏の大論文「現代思想批判小論」は異色。

原石 (創刊号) 二十九年卒業生の同人誌。七篇もある創作のうちで小中陽太郎氏の「マルキシズムの背教者―ワイルヘルムリヒテンベルガー」が一番目立つ。物部長武氏の「権兵衛と藤小僧の話」はさびつとした小品。【ガリ判七三頁・四〇頁】

定ですが、特に最近毎年の様に先輩と現役の間に妙な感情のくずれの起る「記念祭問題」を主に取上げる予定。関心ある方は、意見をどしどし寄せて下さい。

◇ ◇ ◇

六月初旬発行の予定でしたが、小等原校長が急逝されたため、予定を変更せねばならなくなりました。また、縮切り後も、住所変更・電話新設などの報告が続々とあり、その原稿整理や、種々の連絡の手違いから遅れてしまつたことを、お詫言します。



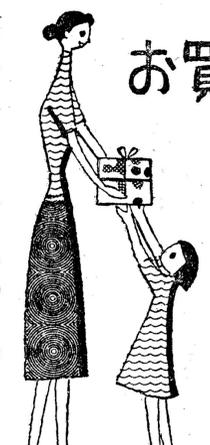
★ 星のマークで 80年...

明治9年以来 80年の
永い間、ご愛飲を頂いて
きた日本最古のビール

ニッポンビール

リボン・リボンジュース

お買物は



東横